

斜面工学研究小委員会第9回委員会議事録

日時：令和元年10月7日（月）14:00～17:30

場所：土木学会

出席者（敬称略，順不同）：平岡、橋口、岩佐、上野、北爪、藤井、中野、原、今井、石田、美馬、片山、鈴木、吉川 計14名

報告事項

1. 前回議事録の確認

- ① 鈴木委員長より、第8回委員会議事録の確認がなされた。

2. 東京都防災展2019の参加報告

- ① 藤井さんより概要を説明。
- ② 2日間で来訪者は367名（初日170名、2日目197名）
- ③ 今後も出展する。

3. 「実験で学ぶ 土砂災害」の販売促進

- ① 藤井さんより販売状況を説明。
- ② 目標部数3000冊、当面の目標2,000冊。2019/9/30時点の販売部数は1867冊。
- ③ 普通は日にちが経つにつれて販売数が減少していくが、今でも15冊／月位売れている。
- ④ 委員会メンバーで協力し、講演会や講習会の場で販促をお願いしたい。
- ⑤ 本屋では買えないのでネット購入が多いと思われる。パンフレットにQRコードを付けるのは良い。
- ⑥ 小中学校で模型実験の授業を行い、一緒に購入もしてもらおうと良いのでは。

4. その他

（1）伊藤先生が日本自然災害学会 学術賞を受賞

- ① 伊藤さんが不在のため、鈴木委員長より紹介。
- ② 論文名「我が国の自然災害に対するリスク指標の変遷と諸外国との比較」。
<https://jsnds.org/award/>

（2）土木学会オープンキャンパスの参加報告

- ① 岩佐さんより概要を説明。
- ② 来訪者は238名（前回より4割増）
- ③ 一般の方が体感しながら学べるイベントとなっており好評。
- ④ 建設工業新聞が取材に来ていた。この機会を通じてアピールできれば、色々な所で出展する機会が増えるかも知れない。
- ⑤ 来年も出展する。

- ⑥ 委員会 HP に掲載する。

審議事項

1. 次期委員長の候補者の選出

- ① 本委員会の特徴は、オープンであること、委員が公募であることが特徴。今後も守っていききたい。
- ② 委員長は、本委員会内から選出する。
- ③ 次期委員長に伊藤先生を推挙する。伊藤先生に打診する。

2. 出版企画

① 出版内容に関する主な意見

- ・ 前回 Q&A のようなもの
- ・ 業界関係者の若手向け
- ・ 土質力学を学んでいない人や土木技術者の若手でも読めるもの
- ・ 入門書、事例集、技術伝承本のようなもの
- ・ 教材＋ミニ実験の付録付き
- ・ 実現象に関するもの（写真、解説、キーワード等）
- ・ 斜面工学全般がわかる本
- ・ 斜面のメンテナンス、構造物点検に関するもの
- ・ 委員の全員参加が大事、色々な専門分野の委員がいる
- ・ 業界関係者に売れることも大事
- ・ 地域性に触れることも大事
- ・ これまでの活動のリソースを活用
- ・ 過去の委員会の経験を活かせるもの
- ・ 新しい知見・概念を入れる
- ・ 第2、3弾と続け集大成を作りたい
- ・ 平易な言葉を使う、難しい用語は使わない、読み手に読みやすいもの
- ・ 専門家に対しては付録などに詳しい説明を加える

② 出版の方針

- ・ 基本的に前回 Q&A のような形で進める。
- ・ 各自で題材1～2題を考える。

③ 編集委員は吉川が行う。

3. 現地調査もしくは巡検

① 巡検

- ・ 中越地震（長岡、山古志村）
- ・ 時期は2019年11月中旬を予定。

4. その他

(1) 中越地震 15 周年イベント

① 今後のまとめ方

- ・ 災害後の長期経過を調べることが大事
- ・ 災害の記憶の風化に関すること
- ・ 植生の変化に関すること
- ・ 大規模河道閉塞に関すること
- ・ 語り継がれる文化の醸成に関すること

② 現地調査

- ・ 巡検を兼ねて、11 月中旬に実施する予定。

(2) 次回委員会

- ・ 1 月中旬を予定。

(3) H30 重点研究課題の報告書送付先

- ・ 残部約 80 部
- ・ 希望者がいれば配布する
- ・ 委員から研究機関や自治体にも配布して頂く（配布先リストを作成）

5. 話題提供

なし

以上